銀漢亭日録

伊藤伊那男

7月20日（日）
▼午前中、髪のカット。昼、孫の学校関係四家族位が集まりバーベキューパーティー。子供入れて二十数名か。私も呼ばれ、フェラーリの3リットル入りスパークリングワインのデカボトルを開けて乾杯。宴会は延々と続き冬瓜汁などを振る舞い、寝たら九時頃起こされてバースデーケーキ用意してくれて私の誕生日祝ってくれる。帽子のプレゼントも。

21日（月）
▼海の日の休日。「梅檀」主宰・辻恵美子さん第三句集「帆翔」の句集評五枚書く。「梅檀」誌掲載用。九月号のエッセイ二本書く。午後、杏一家来て私の誕生祝いの会と。「蟻月」のモツ鍋取り寄せ。結局今日も昼から宴会。桃・杏から萩焼の御飯茶碗、塗り箸のプレゼント。十九時には酔って寝てしまう。昨日と同じパターン。

22日（火）
▼「萩句会」あと十四人店にて暑気払いの会。敦子さん千住会の仲間と。堀切克洋君パリより夏休みで帰国。思いの外多忙。

23日（水）
▼発行所八月号の発送。店、「雛句会」八人。松山さん仕事仲間と。山崎祐子さん。秋の「五十句鍛練句会」申し込み四十人超えたと。

24日（木）
▼九月号の選句追い込み。店は閑散。事業部、鍛練句会の作業。雷雨。

25日（金）
▼十五時より、発行所「門」同人会、あと七名ほど店へ。夜、発行所「金星句会」、堀切君も参加。あと店へ。暇だったので選評など。

26日（土）
▼銀漢九月号の原稿書き。「丘の会」へ十句。第一回「神田古本まつり俳句大会」の選句、選評など。ともかく酷暑の日々。寝たり起きたり。家族は九十九里へ海水浴。

27日（日）

28日（月）
▼店、「演劇人句会」十人。「天為」「秋」の青柳フェイさん米国から帰国、その脚で来店。小川洋、芥ゆかり、宗一郎、佐怒賀正美さんなど集まる。山田真砂年さん

29日（火）
▼西村麒麟君、田中裕明賞受賞祝いの会。山田真砂年、小川洋さんの提案。北村皆雄監督、今井肖子、阪西敦子、土肥あき子、鳥居真里子、望月周、村上鞆彦、山岡有以子、山崎祐子、しなだしん、屋内松山さん他。三十人程。超結社で賑わう。

30日（水）
▼（株）日本古書通信社、樽見博氏、朝妻力さんの紹介とて来店。伊丹「柿衞文庫」で講演に呼ばれ、意気投合し銀漢亭を訪ねるように言われたと。他は閑散にて二十一時半に閉める。

31日（木）
▼彗星集の選、選評を武田家に送信し、九月号全部終了。莉子、一週間の佐渡ヶ島臨海学校から戻ったあと、今度は友人の那須の別荘へ。宮澤は伊勢出張中。華子は合唱部の猛レッスン。店、硯児さん購読会員一名連れて。

8月1日（金）
▼鶯巣さん東北大学・楽焼クラブの同窓会六名。他、閑散。早々に店閉める。

2日（土）
▼九時五十二分の新幹線にて軽井沢。しなの鉄道にて小諸。「そば七」にて昼食。「ベルウィンこもろ」にて、第六回「こもろ・日盛俳句祭」にスタッフ俳人で参加。土肥あき子、中西夕紀さんと一緒の教室。懇親会あと山田真砂年、阪西敦子、和田桃さん他十数名と「酔心」にて食事会。夜の小諸城址散策してホテルに戻る、天の川を見る。

3日（日）
▼真楽寺吟行コース選ぶ。風のよい山寺。蟻地獄など見る。虚子庵を回って戻る。「笊蕎麦刻」の蕎麦うまし。午後の教室、土肥あき子、高柳克弘さんと。十五時半、佐々木終吉さん迎えに来てくれて、谷口いづみ、阪西敦子さんと嬬恋村「北軽井沢句会」の柴山つぐ子家へ。歓迎の横断幕を掲げて十二名の方が待ち受けてくれている。バーベキューパーティー。虹鱒の塩焼きをはじめ、肉、野菜他、ご馳走の山。五句出し句会をして二十時、辞去。帰宅二十二時半。

4日（月）
▼昼、発行所「爽樹」環さん他の句会。あと四人店。西村麒麟、佐藤文香、村上鞆彦さん、敦子さんなど若手七人。丁度、鞆彦さん誕生日と。発行所「かさゝぎ俳句勉強会」あと十人。今日は秋元不死男と。

6日（水）
▼午前中、ヘア・メイクの中川さん来たので私もカット頼む。連日の猛暑。発行所「きさらぎ句会」あと六人。「宙句会」あと九人。青柳フェイさんを囲む「天為」勢六人など。樽見さん二名。

7日（木）
▼発行所「十六夜句会」あと七人。全体閑散。

8日（金）
▼午後、発行所「蔦句会」あと五人。夜、発行所「大倉句会」あと十二人。家族は午後の便で沖縄行。石垣島と本島、半分ずつで二十日迄。

9日（土）
▼十時、発行所にて運営委員会。昼、「いもや」の海老天。十四時より「銀漢本部句会」五十七人出席。私の句は不調。あと「随一望」にて親睦会。来週、店は盆休みにて害虫駆除などして帰る。

10日（日）
▼風接近で風雨強し。一日、原稿書き。礼状、平成俳壇選句。このあと、そうめんや冷蔵庫の野菜などを食べて執筆とうたた寝の日々。

15日（金）
▼菅原庄山子さんよりだだちゃ豆到来。午後、高井戸、杏の家。婿のご両親も来てパーティー。庭全部をウッドデッッキにしたのでなかなか快適。杏、子供できた様子、つわりひどい。三人目！

16日（土）
▼「纏句会」、日本橋「与志喜」休みにて発行所。ところが直前に山田真砂年さんより電話あり、本日は勉強会に貸し出しの先約があったことを知る。急遽、銀漢亭にて句会。十三人。あと「上海美食」にて食事しながらの句評。終了後、店に戻り、月曜日用の仕込みを二十一時まで。

17日（日）
▼夏休みの最終日。十月号の選句終える。今日あたり家族は沖縄本島に移動したか。

18日（月）
▼堀切克洋君を囲む句会。二十五人ほど集まる。兼題「成」「吉」「思」「汗」の四文字詠み込み四句。今日、成吉思汗の命日と。あと、「文」「永」「役」で三句。